

授業科目等の概要

(航空技術専門課程 航空整備士学科 整備技術コース) 2024年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		実 務 経 験 教 員 配 置
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			航空法規	航空機の整備従事者に必要な法規則等について教授する。	1前	44	3	○			○		○		○
○			航空力学	航空機に作用する力や航空機の運動及び性能等について、空気力学を中心に考えその知識を教授する。	1前	44	3	○			○		○		○
○			機体システム	航空機に用いられる各種システムについて、その機能や取扱い等の知識を教授する。	1前	28	2	○			○		○		○
○			機体構造	航空機の構造について、その設計の意図、特徴、取扱い等の知識を教授する。	1前	36	2	○			○		○		○
○			航空機材料	航空機に使用される各種材料について、その性質や取扱い等の知識を教授する。	1前	28	2	○			○		○		○
○			航空計器	航空機に装備される各種計器の構造、機能等についての知識を教授する。	1前	36	2	○			○		○		○
○			電子装備品等	航空機に装備される各種電子・電気機器の構造、機能等についての知識を教授する。	1通	48	3	○			○		○		○
○			発動機 ピストン	航空機に装備されるピストン発動機について、その構造、機能、性能等についての知識を教授する。	1前	48	3	○			○		○		○
○			発動機 プロペラ	航空機に装備されるプロペラについて、その構造、機能、取扱い等についての知識を教授する。	1前	24	1	○			○		○		○
○			発動機 タービン	航空機に装備されるタービン発動機について、その構造、機能、性能等についての知識を教授する。	1後	28	2	○			○		○		○
○			基本技術	航空機の整備、取扱いに必要な「基本的整備技術」についての知識を教授する。	1通	64	4	○			○		○		○
○			電気技術	電気に関する一般的な知識を教授するとともに、第2種電気工事士の資格取得に必要な知識、技能を教授する。	1後	30	2	○			○		○		○

授業科目等の概要

(航空技術専門課程 航空整備士学科 整備技術コース) 2024年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		実務 経験 教員 配置
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			基本技術 (実習)	航空機の整備、取扱いに必要な「基本的整備技術」についての知識、技能を教授する。	1 2 通	336	12			○	○		○	○	
○			機体装備品	航空機の構造、系統、装備品等並びに航空機の全般にわたる取扱要領や整備要領を実践的に教授し、知識と実技を総合的に深める。	1 後 2 前	140	5			○	○		○		○
○			発動機 ピストン	ピストン発動機の構造、機能、性能、取扱要領、整備要領等を実践的に教授し、知識と実技を総合的に深める。	1 前	28	1			○	○		○		○
○			発動機 タービン	タービン発動機の構造、機能、取扱要領、整備要領等を実践的に教授し、知識と実技を総合的に深める。	1 後	76	2			○	○		○		○
○			電気技術	電気に関する一般的な実技知識を教授するとともに、第2種電気工事士の資格取得に必要な知識、技能を教授する。	1 後 2 前	80	2			○	○		○		○
○			総合技術	航空機全般（ヘリコプター）を対象として、電装関係、大型機概要及びヘリコプター構造機能等を実践的に習得するとともに、模型を作成して知識と実技を総合的に深める。	1 後 2 前	120	4			○	○		○	○	○

必修科目：1914時間

実務経験：1238時間